

K O M M E R M U S I K
P R O J E C T

カンマー・ムジーク・プロジェクト

特定非営利活動法人
ドネルモ

NPO法人ドネルモ

設立：2009.4.1 法人化：2012.3.13

「文化」が息づく社会を目指して

- 「これからの文化の担い手」を育成する事業
- 「これからのコミュニティ」をつくる事業
- ドネルモの価値観を共有・PRする事業
- 社会的課題を調査・研究する事業



□「これからの文化の担い手」を育成する事業

- ・デザインプロジェクト「オルケスタ」
- ・カンマームジークプロジェクト（福岡県と福岡市からの助成事業）
- ・中居真理×ドネルモ「ぺったんこにみる」（協力：まちなかアートギャラリー）

□「これからのコミュニティ」をつくる事業

- ・コミュニティで創る高齢社会のデザイン（AABC・九経済調査協会からの業務委託）
- ・レクチャーワークショップ「地域に役立つ《しごと》づくり」（福岡市からの助成事業）
- ・トークイベント「まちのお店のはじめかた」

□ドネルモの価値観を共有・PRする事業

- ・読書会「ランドラ」
- ・サブカル系トークイベント「ドネルモのあさかつ」開催
- ・サロン・ド・ネルモ
- ・大学等での講演、インタビュー記事、他

□社会的課題を調査・研究する事業

- ・「企業とNPOとの協働事例集」海外事例調査&レポート執筆
（九州コミュニティ研究所からの業務委託）
- ・レポート『クリエイティブを巡るしくみの転換』九州経済調査月報Vol.66所収
（九州経済調査協会：契約は山内個人名義）
- ・介護福祉分野の人材教育に関する調査（専門学校麻生看護大学校：契約は宮田個人名義）

カンマー・ミュージック・プロジェクト (KMP)

【コンセプト】

音楽を巡って人々が関わり合う《場》をつくる

【対象】

アマチュア演奏家、音楽に関心を持つ人々

【アプローチ】

「従来のコンサート」とは違う

《クラシックを巡るこれからの地域モデル》をつくる

【アプローチ】

「従来のコンサート」とは違う

《クラシックを巡るこれからの地域モデル》をつくる

【問題の背景】

「従来のコンサート」の枠組みでは…

演奏者側：演奏は全プログラムを一人で・基本的に自腹で実施・ステージ演出等にこだわりなし…etc

聴き手側：マナー等堅苦しい雰囲気・演奏しない人の関わり方は「聴く」のみ…etc

⇒ 「従来の常識」の枠組みからはみ出してしまう人々がいる

【対応策として】

「従来の常識」の枠外で、いろいろなニーズを持つ人が、
それぞれのかたちで関わるのこのことのできるしくみ



《クラシックを巡るこれからの地域モデル》

③補助事業の概要：企画会議・広報チラシ



□企画会議

クラシックに携わる人と
クラシックに親しみのない人
による混成チーム会議



□演奏者との意見交換
企画側の意図を説明し、
演奏者側と意見交換

KAMM&RMUSIK PRØJ&CT

09.30 party@reizensou

10.29 concert@hakosui

11.11 concert@hakosui

12.02 rehearsal@hakosui

12.13 concert@airefu hall

web: donnerlemot.com



□カンマームジークセッション

9.30 オープニングパーティ@冷泉荘

10.29 コスプレする音楽@箱崎水族館喫茶室

11.11 気まぐれメランコリック@箱崎水族館喫茶室

③補助事業の概要：コンサート

donner le mot
ドナルモ | give the word project



KAMMERMUSIK
PROJECT



②補助事業の概要：配布物の例

カンマ&Rミュージックプロジェクト ミュージックセッション10.29「コスプレする音楽」

本日のメニュー

□西洋音楽史の素材によるオードブル

- ・J.S.バッハ：『パルティータ第3番』ガヴォットより(1720)
- ・モーツァルト：『ピアノソナタK.545』第1楽章より(1788)
- ・ベートーヴェン：『ピアノソナタ第14番』第1楽章より(1801)
- ・シューマン：『子供の情景』トロイメライより(1838)
- ・ショパン：『24のプレリュード』第7曲より(1839)
- ・ブラームス：『ハンガリー舞曲』第5番より(1867)
- ・サティ：『ジムノペディ』第1番より(1888)
- ・ドビュッシー：『ベルガマスク組曲』第3曲「月の光」より(1890)
- ・ブラームス：『6つの小品op.118』第6曲「間奏曲」より(1893)
- ・ストラヴィンスキー：バレエ音楽『春の祭典』より
- ・ストラヴィンスキー：『クラリネットのための3つの小品』第3曲より(1918)
- ・ブーレーズ：『ピアノのためのノタシオン』第1曲より(1945)

□「コスプレする音楽」の三種盛り

【お話】ソフィスケイティッド・ハイブリッド・プーランク
(→猥雑と洗練と切なすぎるプーランクについて)

【演奏】プーランク：クラリネットソナタ(1962)

【お話】バルトークの村娘萌え
(→民族音楽と西洋音楽とマニアックなバルトークについて)

【演奏】バルトーク：ルーマニア民族舞曲(1915)

【お話】リズムカル・バラドキシカル・ストラヴィンスキー
(→ダンスとジャズとスウィングしてないストラヴィンスキーについて)

【演奏】ストラヴィンスキー：『兵士の物語』組曲 三重奏版(1918)

【生演奏】

(クラリネット) 棚町幸則
(ヴァイオリン) 大場秀毅
(ピアノ) 幸松えみ

【進行】

山内泰 (NPO法人ドネルモ代表)

【会場】

箱崎水族館喫茶室

【ロゴフォント】

Lovedesign.co(<http://lovedesign.tv/>)

【主催】

NPO法人ドネルモ
→<http://donnerlemot.com>
(福岡市NPO活動推進補助金助成事業)

次回のミュージックセッション
「気まぐれメランコリック」

11.11 (日) 15:00~

@箱崎水族館喫茶室

→晩年のブラームス(メンヘラ気味)に、じっくりゆったり浸ります。

KAMM&RMUSIK PROJEKT

【参加総数】

90名（聴衆75名、演奏者8名、ボランティアスタッフ7名）

【演奏者内訳】

- ・ 高校の先生（吹奏楽部顧問、音楽教師）
- ・ ピアノの先生、ヴァイオリンの先生
- ・ 東京の音大を卒業後、福岡に就職で戻ってきた方
- ・ イタリアの音大を修了後、福岡で教室を主催されている方
- ・ その他アマチュア演奏家の方々

【みなさんの反応】

- ・ 企画案への好評（クラシックに馴染みがない故の発想）
- ・ 演奏者の矜持、聴き手のニーズ、企画者の問題意識

【補助事業の長所】

- ・ 総予算の4/5を助成する点
- ・ チケット収入を自己資金に組み入れられる点

【補助事業の課題】

- ・ 本補助事業（あすみんな夢ファンド）のPRとブランディング
- ・ 助成団体にできること
- ・ 持続可能なモデルへ

【謝辞】